

道連ニュース

2014年3月号 No.93

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

～さようなら原発北海道集会とデモに800人が参加～

3月8日、札幌市中央区共済ホールにおいて、「フクシマを忘れない! さようなら原発北海道集会」が開催されました。集会では、小野有五北大名誉教授が「札幌は泊原発の風下で、事故が起こると人が住めなくなる」と指摘し「原発は一度動かすと現在の人類の技術ではコントロール出来なく経済的にも無駄が多い」とのお話でした。

また、建設中の電源開発大間原発（青森県大間町）に住む小笠原厚子さんは「放射性廃棄物の処理場も決っていないのに、また廃棄物を増やすのか」と建設阻止の訴えがありました。

集会では最後に、北海道反原発連合の大島美和さんが集会アピールを提案し採択されました。（集会アピール全文は道連ホームページに掲載中ですので参照ください）集会後参加者は札幌駅前通りなどをデモ行進し、「福島を忘れない」「泊原発再稼働反対」を市民に訴えました。

また、集会では「知っていますか？ 原発を止めたほうが得する8つの理由」のパンフが配られました。編集責任者は小野有五先生でとても解り易い内容でお勧めです。発行者は泊原発の廃炉を目指す会でTEL011-594-8454となっていますのでお知らせいたします。

『第59回 通常総代会』

総代会当日（3月10日）は天気が悪く、吹雪で前が見えないような状況の中、総代、理事、監事そして来賓の皆様の出席を頂きました。御礼申し上げます。本年度の総代会は選出総代100名中、出席総代45名と書面議決書合わせて合計84となり総代会成立の報告後、議事にうつり事業報告の中では、特に自主供給が厳しく前年対比86.3% になっており、総供給高は292,965千円で前年対比96.9%の供給となり厳しい事業活動の報告となりました。その後、事業計画等の議案がすべて承認されました。4月より消費税8%となります。



学生協を取巻く環境は、厳しさの一途を辿っています。児童生徒数減少の加速、教職員の多

忙化など今後の事業活動への影響が懸念されるどころです。これらの課題を踏まえ、将来展望を切り開き発展していくには、今まで以上に心を合わせ一体となって、教職員の皆さんとの信頼関係を深めていかなければなりません。わたしたち学生協は、長期的視点から、学生協運動の取り組みに参加できる体制と事業の再構築をしていかなければなりません。網走四地区学校生活協同組合独自の対面販売を生かした様々な商品提案、現物PRなどで営業、企画を強化、工夫しながら多様化する組合員のニーズと継続的な魅力ある学生協としていくことを目指してまいります。



臨時理事会が開催されました

2月24日、臨時理事会を堀江理事（全労済専務理事）の議事進行で開催しました。議決されました議案は①経理規則改定の件②労働金庫借入に伴う、保証人の件③労働金庫との「緊急災害等の相互連携に係る基本協定」締結の件についてでした。

議案は前川専務より提案が行われ、事前に集約され

ていました書面議決分を含めまして、各議案共に全会一致で議決されましたので、ご報告致します。

臨時理事会の議決に伴いまして、その後労働金庫借入の具体化実務と「緊急災害等の相互連携に係る基本協定」締結調印式の準備が進められています。

札幌医療生協

北海道のホスピスの歴史と共に

ホスピス開設10周年、ホームケアクリニック札幌開設5周年

昨年当医療生協は、ホスピス（緩和ケア）病棟開設10周年と在宅緩和ケア専門の診療所「ホームケアクリニック札幌」開設5周年を迎えることができました。

今回はそんなホスピスの日常の一コマをご紹介します。

ホスピス病棟は、ボランティアの「せら」さんによる飾り付けなどいつも季節感があふれています。また、ミニコンサートや季節のイベントもあります。3月は「ひなまつりの会」でした。四十坊院長のお内裏様と看護師のお雛様、ティールームや各部屋を回って



皆さまと記念撮影、厳かな中にもどこかほのぼのと、そして笑いもある楽しい一日でした。

さて、これまでを振り返る

と、様々な試行錯誤の中、患者様そしてご家族に対する熱い思いを胸にまさに北海道のホスピスの歴史と共に走り抜けてきた10年間でした。昨年10月19日には日本のホスピスの第一人者である柏木哲夫先生をお招きしての講演やミニコンサートを内容とした記念講演会を開催しました。柏木先生曰く、ホスピスのこころを深めるためには「人間力」を高める事が大切とのこと。改めてこの10年間の歩みに感謝し、それぞれが「人間力」を高めてこれまで以上のホスピスを作っていきたいと思ひます。



被災60年 3.1ピキニデー集会

被災60年3.1ピキニデー静岡県実行委員会主催の墓参平和行進と集会が焼津で開催されました。行進には1800名、集会には2400名が参加しました。1954年3月1日ピキニ環礁で操業中の第五福竜丸はアメリカの水爆実験の死の灰を浴びました。乗組員23名が被爆し、半年後、放射能症で「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」と言い残して久保山愛吉氏は死にました。アメリカは日本に再燃した核に対する忌避感を打ち消そうと、支払う側にとっては多額の賠償金でピ



キニ事件の決着を図りました。1955年開催された原子力平和利用国際会議では、アメリカに追従した日本政府に放射性物質の影響についての発表を止められました。その後「原子力基本法」が制定され日本に原発が導入されました。地震大国に原発が乱立し、福島事故につながっています。被ばくしたのは第五福竜丸以外に1000隻以上あったのに、補償はほんの一部ということもフクシマと同じです。集会では、福島から、県内の原発10基の廃炉を決めたこと、事故の時の情報提供が不足していた体験から「秘密保護法」に反対であること、各自治体で「非核平和都市」を宣言しましょうという呼びかけがありました。最後に「核兵器のない世界」を実現させるべきことはもちろん、ヒバクシャの支援、原発ゼロと再生可能エネルギーへの政策転換などを求めるアピールが採択されました。

山下惣一氏講演会「百姓の本音で語る農業観」

3月12日、北海道クリーン農業推進協議会主催で北海道クリーン農業セミナーが開催されました。今年度の基調講演の講師は佐賀県の農民作家の山下惣一氏で、参加者は過去最高の230名となりました。

「政府は規模拡大を唱えて小規模農家（＝百姓）をつぶしにかかっている（つぶされてたまるか！）が、規模拡大するより、1年中収入が途切れないように経営の中身を増やし、多品種栽培を進めてきた。ベルリンの壁が崩れた頃からグローバリゼーションという言葉が出てきたが、イギリスの環境NPOに言わせれば『資本対民衆の新たな戦争』である。規制とは弱いものを守るために強いものを縛るもので、規制緩和は資本が何の制約も受けず自由に経済活動できるようにすること。TPPの後は資本のやり放題になる。ただア

メリカは自国の法律を変えようとしないので、交渉が漂流するのではないかと期待している。『綿を栽培する者より布を織る者が豊か。布を織る者より商う者が豊か』とか『農は工に如かず、工は商に如かず』などと言われるように農業は儲からないものが必要だから続いてきた。アメリカでもオーガニックやCSAが増えている。これからの農業には①自給（自前→金の支配から逃れる方法）②地産地消（周りの消費者に支持される農業を目指す）③「オーガニックが大事。」と話しました。

